

## ■1.はじめに

本作品は、阪神電気鉄道株式会社・阪急電鉄株式会社が道路を隔てそれぞれ所有していた2つの建物を、両社の統合を期に百貨店とオフィス等が複合した施設へと建て替えるものである(写真1.1,1.2)。道路上で2つの建物を一体化する特殊な条件のもと、「店舗と外装の計画が自由に行える継ぎ目のない内外空間」、「百貨店に適した敷地全体にわたる大きな売場とオフィスに適した整形な形状」を建築主は望んでいた。ただし、構造的な課題から両者ともに実現することは困難と思われていた。

私は、2社統合後の出発点ともなる本作品を「建築主の期待を超える作品」と考えた。本稿では、道路を横断するL形平面基壇の上部へ超高層が積層するというかつてない立体形状を有した超高層建物へのチャレンジにおける思考と検討の過程、そしてその成果を報告する。

## ■2.建築コンセプトと概要

まちと建築の立体的な繋がりにより歩いて楽しい大阪梅田の起点を作る、という意図のもと、3つのコンセプトを有している(図2.1~4、写真2.1)。

- ①低層百貨店 : 「プレスやEXP」のない240mに渡る連続した商空間
- ②超高層オフィス : 「センターコア周辺に展開し、多様な働き方へ対応する20m無柱空間」
- ③ファサード : 「環境負荷の低減とともに、大阪の玄関口である大阪・梅田駅前エリアと呼応し、新しい都市景観を創出」



写真1.1 建設前



写真1.2 建設後

建築主: 阪神電気鉄道株式会社・阪急電鉄株式会社  
所在地: 大阪市北区梅田1丁目13番1号  
階数: 地下3階、地上38階、塔屋2階  
建築面積: 10,359㎡ 延床面積: 259,373㎡  
建物高さ: 188.9m (基壇部約56m)  
構造種別: S造(柱CFT造)、SRC造  
構造形式: 制振構造(座屈拘束ブレース、粘性壁、オイルダンパー)

基礎形式: 杭基礎、直接基礎  
設計・施工: 株式会社竹中工務店  
監理: 株式会社竹中工務店  
基本計画・特区申請・基本設計: 株式会社日本設計

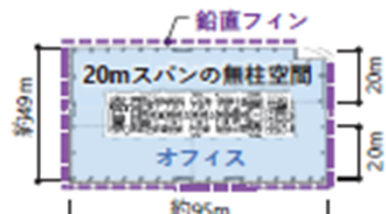


図2.1 オフィス基準階平面図



図2.3 配置図

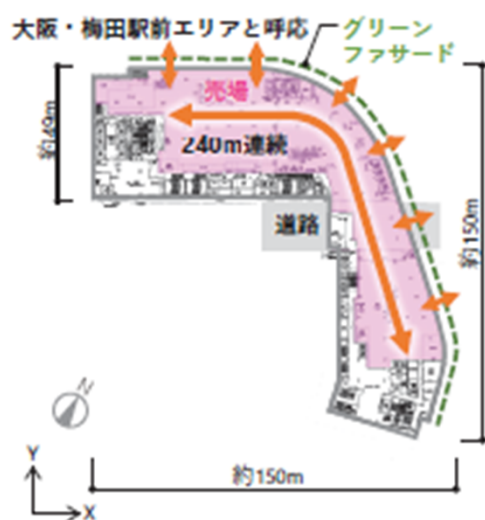


図2.2 百貨店基準階平面図

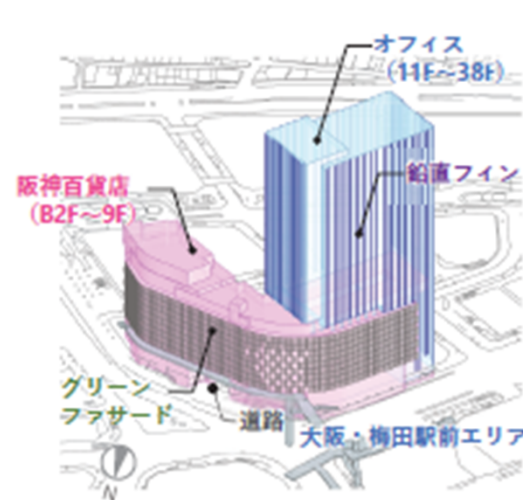


図2.4 建物全体概要

